

早稲田大学ビジネススクール、社会課題を題材にゼミ運営 小児がんの啓発プロジェクト、キャンサーネットジャパンと共同で推進



小児がん啓発プロジェクトを発表。(左から4人目)キャンサーネットジャパン理事古賀真美さん、同中井美穂さんと早稲田大学ビジネススクール「企業経営と社会変革ゼミ」のメンバー

ビジネスと社会課題解決の両立をテーマに取り組む姿勢と、 NPOの想いが合致

早稲田大学ビジネススクール(早稲田大学経営管理研究科、以後WBS)は6月3日、小児がん啓発をテーマに、教育と社会課題の解決を共同で推進することを発表しました。

WBSでは、そのミッションのひとつに「グローバルな視点と強い倫理観を持って社会的課題を見極め、解決していくリーダーの育成」を掲げています。ビジネスのプロとしての知見はもちろんのこと、社会に広く目を向け、時にその課題の解決のために学びと経験を活かすことも大切なことと捉えています。

この度、がんというテーマを通じて、社会課題の解決を目指して活動をしている特定非営利活動法人キャンサーネットジャパン(本部:東京都文京区、理事長:岩瀬哲、以後CNJ)とその志をひとつにし、ビジネススクールにおけるゼミ活動の一環として、小児がん啓発プロジェクトに共同で取り組むことといたしました。

WBSで「企業経営と社会変革」ゼミを担当する鶴谷武親客員教授は「我々が学ぶマネジメントは営利団体も非営利団体もなく、あらゆる組織において共通するテーマ。今回のプロジェクトから学べるものも多く、積極的に取り組みたい」と抱負を述べています。



キックオフミーティングの様子

当ゼミには医師、企業人など、幅広いメンバーが属し、これまでの経験と学びを活かし、このテーマに取り組んでいきます。5月に開かれたキックオフミーティングでは、さっそく両者の想いを共有するとともに、様々なアイデアや意見が交換されました。

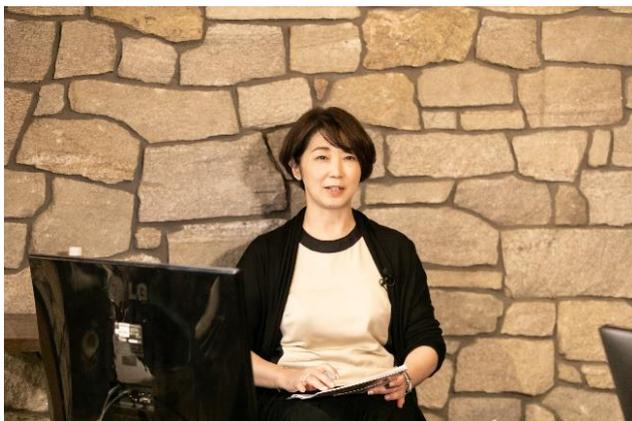
古賀真美CNJ理事 「学びの実践の場になればありがたい」



共同プロジェクトへの期待を語る古賀理事

共同プロジェクトの開始にあたり、古賀真美CNJ理事は「小児がんの啓発をどのように進めると有効なのか考えめぐねていました。社会人として様々な経験をされている皆さんから新しいアイデアをいただけることを楽しみにしています。このプロジェクトが日頃のビジネススクールでの学ばれていることの実践の場になれば光栄です」とのコメントを寄せています。

中井美穂CNJ理事 「当事者に限らず多くの人に理解してほしい」



想いを語る中井理事

CNJの活動を全国に広げる活動をしてきたフリーアナウンサーの中井理事は「私自身が大きな病気をして初めて病は他人事ではなく、誰もがいつかは出会うものなのだ実感しました。まして、がんは二人に一人がかかる時代です。今回、小児がんの子ども達やご家族、医療に携わる従事者の方々の状況を知り、多くの方に自分ごととして考えていただくために出来ることを皆さんと一緒に模索したいと思っています」と語っています。

飯野義之さん(ゼミ生・電機メーカー勤務)



抱負を語る飯野さん

ゼミ生の一人で本プロジェクトのリーダーを務める飯野義之さんは「日頃、大量のインプットをしているビジネススクールでの学びをアウトプットする場だと考えています。また、メンバーそれぞれが異なる専門分野ならびに価値観を持っており、それらを持ち寄って取り組めることも我々の強みだと思っています。結果にこだわりつつ、関わる多くの人に『やって良かった』と思っていただけのことを目指していきます」と抱負を語っています。

小児がん啓発プロジェクト概要

目的

CNJが取り組む社会課題をテーマに、ビジネススクールで学ぶ学生が取り組むプロセスを通じて、社会課題の解決、学びの実践、ゼミ生の成長を目指します。CNJとWBSが取り組む最初のテーマである小児がんの啓発プロジェクトでは、小児がんに対する認知拡大を通じて、小児がんを取り巻く環境の改善に取り組みます。

内容

小児がんは毎年2,500人前後発生し、そのうちの2割が亡くなる病気です。治療法が進み、8割の子どもたちが命を落とさないようにはなりました。しかしながら、がんの中では対象人数も少ないことから、情報の発信量も少なく、いざ自分の身の回りの人が発症した際に得られる情報源は限られています。また、小児がんの研究・臨床に対するサポートも決して十分とは言えません。

CNJは小児がんの啓発を通じて、こうした状況の改善をテーマに取り組むこととなりました。早稲田大学ビジネススクールでは社会で有用な学びを志向していることから、本プロジェクトに賛同し、ゼミにおいてそのテーマに取り組むこととしました。ゼミ生は修士論文の完成に向けた各自の研究テーマと並行して、本プロジェクトに取り組みます。小児がんのシンボルであるゴールドリボンの認知拡大策に加え、日本では認知度の低い「世界小児がん啓発月間」への取り組みも予定されています。

今後、小児がん啓発以外のテーマへの取り組みも視野に入れ、協働を深めていく予定です。

キャンサーネットジャパン URL:<https://www.cancernet.jp/>

早稲田大学ビジネススクール URL:<https://www.waseda.jp/fcom/wbs/>